



『人類に奉仕するロータリー』 Rotary Serving Humanity

RI会長 ジョン・ジャーム 第2590地区ガバナー 高良 明

# 川崎中原ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKAHARA R.C. WEEKLY/2016~2017

会長・戸張 裕康 幹事・都倉八重子 会場監督・江口 進 会報委員長・小泉 正博

事務所・〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104

TEL.044-722-7282 FAX.044-722-0066 E-mail:info@nakahara-rc.com

◆例会場 ホテル精養軒 第1・第3木曜日 PM12:30~ 第2・第4木曜日 AM7:30~ TEL.044-711-8855

## 第1369回 (本年度7回)

平成28年8月25日(木)

**点 鐘** 戸張 裕康 会長

**司 会** 江口 進 会場監督

**斉 唱** 「四つのテスト」

**会員出席報告** 東出 隆裕 親睦委員

本日	会員数	出席	欠席	出席率
	26名	19名	7名	82.61%
前々回(8月4日)	欠席7名	Make up 3名		91.67%

欠席者：古越会員、河合会員、工藤会員、高木会員

**ニコニコ報告** 東出 隆裕 親睦委員

### ◆戸張 裕康 会長

本日は東出さんの入会卓話です。昨日の第2グループの新会員交流会での中原RCのバックアップに感謝いたします。ローテックスの皆さんの成長がとても嬉しかったです。青山さんも元気でした。年度も何とか2ヶ月が経ちました。有難うございます。

### ◆都倉 八重子 幹事

昨日の「新会員交流会」、中原RCの会員の皆様からの越乃寒梅・焼酎・ワイン・ウイスキー等の差し入れ有難うございました。とても盛大で、「ローテックス」も頑張っておりました。大勢のご出席に感謝申し上げます。

### ◆親睦委員会一同

昨日の交流会は、海外に行かれた若い方のお話がとてもよかったです。

### ◆SSA一同

台風一過、またしても猛暑が戻ってまいりました。まだまだ残暑が厳しいので、ご家族ともどもご自愛くださいますようお願いいたします。

「みんなニコニコ」

東出さん、卓話楽しみにしています!!!

若狭 滋則 会員・島田 叔昌 会員・山本 剛 会員  
市川 功一 会員・小泉 正博 会員・鈴木 次男 会員  
高瀬 建夫 会員・徳安 久是 会員

ニコニコボックス	本日	13,000円	累計	134,000円
記念日ニコニコ	本日	0円	累計	15,000円

## 会長報告 戸張 裕康 会長 (9月1日)

- 理事会報告 (詳細は、次週会報にて)
- 地区からの来信
  - ①クラブ会長・幹事セミナー開催のご案内。  
日時：2016年9月20日(火) 15:00~17:30  
場所：メモワールプラザソシア 21
  - ②地区大会参加促進キャンペーン実施のご連絡が届いております。  
川崎西RCより2名が「地区大会のご案内」パンフレットを持参してクラブ例会を訪問し、5分程度地区大会のご案内をさせて頂きたいとの事です。(訪問者・日程は別途お知らせ)
- 第2グループ新会員交流会のアンケートへの協力依頼がきております。  
当日ご参加の皆様は、ご記入の上、都倉幹事までご提出ください。
- 米山梅吉記念館より、秋季例祭のご案内と館報が届いております。(回覧)  
日時：2016年9月24日(土) 14:00~式典  
14:30~講演「ロータリー留学という原点と私の存在」  
場所：米山梅吉記念館ホール
- 第38回「なかはら“ゆめ”区民祭」の趣意書と賛助金のお願いが届いております。  
日時：2016年10月16日(日) 10:00~  
場所：等々力緑地
- 他クラブ例会臨時変更
  - 川崎幸RC  
9月9日(金) 夜間移動例会 親睦会  
川崎競馬場 点鐘 18:00
  - 9月23日(金) 休会
  - 川崎高津RC  
9月15日⇒14日(水) 移動例会 早朝供養例会  
9月22日(木) 休会(祝日)  
9月29日(木) 夜間例会 ホテルKSP 3F 点鐘 18:00
  - 川崎大師RC  
9月28日(水) 3RC合同親睦例会  
川崎日航ホテル 点鐘 18:30
- 他クラブ会報の回覧 本日はございません。
- 7月より、第1四半期(7月~9月)の会費75,000円の納入をお願いしております。  
まだお納めでない方は、9月15日(木)の例会までにお願ひ致します。(22日休会・29日夜間例会)

9. 次週 9月8日(木) は、ガバナー補佐をお迎えしてクラブ協議会を開催致します。

定例早朝例会を、昼例会 点鐘 12:30 に変更いたしますので、お間違えのないようご出席下さい。

## 入会卓話 東出 隆裕 会員

それでは、入会卓話ということでお話をさせていただきます。



私は、1971年、昭和46年11月に川崎市高津区の蟹ヶ谷というところに生まれ、両親と4つ下の弟と高校1年生まで暮らしていました。市営住宅で当時

は2階建ての長屋が何10棟と建っていました。近所の竹やぶから1億円が2回くらい出てきて、テレビなどによく出ていました。現在は様変わりして、高層の団地になっているようです。小学校1年生から、引越しをする高校1年生までずっと野球をしていました。高校での野球は、1年足らずでしたが、公立の弱小チームで3年生が4人、2年生が2人、そしてわれら1年生は12人という構成でした。ですから入部してすぐに始まる夏の大会神奈川県予選に1年生が何人かがレギュラーで試合に出ることになります。そしたら、なんとくじ引きで開幕試合に当たってしまいました。開幕試合となりますと開会式直後の試合となりまして(場所は横浜スタジアム)、神奈川テレビの中継も行われました。結果はご想像の通り、対戦相手も同じ公立高校ですが、27対4で負けてしまいました。中継のアナウンサーも観客も試合が長くて大変でしたでしょう。恥ずかしい思いをしました。私はレギュラーではありませんでしたが最後のほうに代打で出してもらい、結果は空振り三振でした。帰ってビデオを見返したらバットとボールが30センチくらい離れていました。それで思ったのですが上級生が少ない為、今の1年生はこれから他校の選手より試合経験を多く積めるので、1年後2年後はそこそこ強くなるのでは・・・と思いました。今思い返してみると、部活で野球をしているときが一番楽しかったように思います。

ちょうどそのころ。親が離婚することになり、母親の親戚を頼って茨城県鹿島郡神栖町、今は神栖市になっているようですが、そこに引越しをする事になりました。父親は長年勤めていた建設会社(ミニゼネコンとでもいうのでしょうか)を辞め、自分で独立して何年か経っていました。母親もその仕事を手伝っていたのですが、父親が病気になり、動ける人がいないので未経験者を雇い、お客さんや協力業者に病気の事を隠してしのいでいたようです。父の病気は、病名は聞いていないのですが、腎臓が肥大していて、それを1つ取る手術をしたようで、悪性でなかったのが死なずには済みましたが、それが原

因かどうかはわかりませんが、父方の親戚に多額の借金をしていたようです。どうもその借金の責任を母親の責任にして、父親の親戚に言い訳をしていたようで、そんな人とは別れるべきだとなったとか・・・同時に飲食店で知り合った台湾の女性を、しっかりした女性ということでその親戚に紹介していたようです。

その後、両親は離婚し、父はその女性と再婚しました。私が知っている離婚の原因は、このような内容のようです。私も弟もいろいろ思うところがあります。弟は父親に対して捨てられたという思いがあったようですが、私は父親に対しては不思議とそのような感情はありませんでした。あまり家にもいませんでしたし、情があまりなかったのかもしれませんが、むしろ母親のほうに寂しさなのか残念な気持ちなのかを感じました。当時市営住宅に住んでいましたから所得に応じて賃料も決まっていたはずですが、ですから引越しをする理由はないはずなのです。市営住宅の長屋ですから、人の噂話やら何やらはがすぐ広まる場所です。それが嫌なのは私もわかりませんが、結局母親自身の世間体や傷ついた気持ちなどを考え引越しをすることになりました。当然相談はありましたがそんな状況で反対とは言えませんでした。引越し先では、性格の違いもあるのでしょうか、弟はすぐになじみましたが、私は、なかなかなじむことができず、見た目は普通にしていますが、相当ふてくされていました。経済的にも厳しかったので学校をやめて、仕事でもしようかとかなり悩みました。大学は行きたかったので、仕事しながら当時の大検(大学資格検定試験)を受けてとも考えましたが、ぜんぜん勉強していなかったのもそんなに甘くはないと思い、まずは高校を卒業しようと思いかろうじて卒業しました。

ちょうどそのころ、父親から連絡があり養育費といって少しまとまったお金を送ってきました。母親の話によると、父親の会社が軌道に乗ってきたというのです。それを聞いて、私は、チャンスだと思い、弟もまだ学生でしたので養育費を毎月きちんと払う事を条件に父の会社に入社しました。そのときの気持ちは、「よし、父の会社を乗っ取って大きくしてやろう」と意気込んでいました。そこで現場監督見習いをして3年位、少し仕事を覚えたころ、バブル崩壊の少し前にもかかわらず、当時のメインバンクのさくら銀行より融資を切られ、2回目の不渡りをだし会社は倒産してしまいました。負債総額は確か5億前後だったと思います。債権者を会社に集め集会を開きましたが40人位来ていました。何人かいた社員もみなどかかに行ってしまう、結局、社長と私2人で集会を開きました。社長は事前に丸坊主になり、債権者を前に私と2人で土下座して謝りました。なんで私が謝るのとも思いましたが、息子だから仕方がないですね。債権者の中には、付き合いの短い業者さんもいましたので頭にきて社長の胸ぐらを掴んでいる人もいました。幸い私は役員ではありませんでしたので謝っただけですみましたが、中には千



らに移ることにしました。前の会社ではお世話になりましたが、その分売上でお返ししたと思います。

その後に入った会社は武蔵新城にあって、そこで賃貸の仕事を覚えました。そしてしばらくするとその会社が場所を移転するという事になった為、それを期に自分で独立してやりたいと思い現在の会社を立ち上げました。平成15年4月に会社を始め、約13年半になります。不動産の賃貸・売上の仲介、賃貸不動産の管理、不動産の買取、分譲住宅の建築・販売、リフォーム工事を主にやっております。今でも事業を拡大したいという気持ちは、少しはありますが20代に思っていたほどではありません。どちらかというと会社のボリュームよりは、内容のほうが大変かなと思うようになったのと、父が会社を潰したときの経験から多少人間不信なところもあるかもしれません。でも一番はとにかく人を雇って、育てて、人件費を捻出していく事がとても大変なことで、それをされている社長さん方を見ると本当に尊敬します。今は夫婦2人でやっていますので気が楽です。ただこれからはもう少し自分を奮い立たせて頑張りたいです。

今年の3月にロータリークラブに入会させていただいて約半年になりますが、みなさんが私のような新人に気を掛けていただいて、大変ありがたいと思っています。ゴルフに誘っていただいたり、食事に誘っていただいたり、わからないことも親切に教えていただいたりします。最近入会された少し先輩もいらっしゃるので話もしやすくありがたいです。夫婦2人で仕事をしていますのでたまにお休みをいただく場合もございますが、出来る限り長くお世話になりたいと思います。その為には、仕事も頑張らなければいけないと思います。みなさん今後ともよろしくお願い致します。以上とさせていただきます。ありがとうございました。

## 【プログラムの予定】

9月8日(木)	H精養軒	12:30~13:30
昼例会に変更	G補佐を迎えてのクラブ協議会③	
9月15日(木)	H精養軒	12:30~13:30
	ガバナー公式訪問	
9月22日(木)	休会(祝日)	
9月29日(木)	鈴や 武蔵中原店	点鐘 18:30
	夜間例会	

## 【ポール・ハリス語録6】

ロータリーの原動力は友情です。

(スコットランド、エジンバラで開かれた  
1921年RI国際大会でのメッセージ)

## 【ロータリー・ミニミニ情報 No4】

### ロータリー・・・命名の由来

このクラブに名前をつける段階で、最初に提案された名前はブースタークラブBooster Club(推進者)でした。「ブースター? 電圧の上昇?」辞書には、前進を助けるために、下から持ち上げるか押し上げると言う意味が書かれています。悪くない! 現在のアメリカにぴったり当てはまる言葉です。どんな都市や町にある大学や高校には、ブースター組織があり、その種類は20以上にもなっています。しかし、もっと思慮深い考え方が、クラブにその名前をつけることを思い留まらせました。「我々はシカゴを押し上げることに関心があるわけではないし、いわんやこのクラブを押し上げることでもありません。すでに、そのために商工会議所という特別な組織ができています。クラブ会員の望んでいることは、世間の注目をあびている彼ら自身を“押し上げる”ことであり、相互取引によってより多くの金を稼ぎ、毎週の例会でささやかな楽しみを持つことなのです。」と、ポールは反対しました。

「ラウンド・テーブル・クラブthe Round Table Clubはどうだろう」と、誰かが提案しました。これもまた悪くはありません。アーサー王の円卓会議は、重要な人が参加することで有名であり、高貴な香りすら漂ってきます。しかし、その名前には新鮮味がありませんし、新しい国の活力溢れた都市には相応しいとは思えません。

「コンスピレーターズ・クラブ(共謀者)the Conspirators Clubと呼んだらどうだろう?」皆はその名前について考えながら、長い間、沈黙の時間が流れました。ついに、たまりかねた一人が尋ねました。「なぜ共謀者なんだい? 我々は何を共謀しようとしているのか? その言葉は、普通、あまり良くない行為を意味すると思うのだが。」ポールは必ずしも、そんなふうには考えませんでした。その言葉の先入観が、クラブ本来の趣旨を混乱させるかもしれないと考え、その意見に賛成しました。ザ・シカゴ・フェローシップ the Chicago Fellowship、ザ・ブルー・ボーイズ the Blue Boys、シカゴ・サークル Chicago Circle、ザ・レイク・クラブ the Lake Club、FFFクラブ、メン・ウイズ・フレンズ Men with Friends、フレンズ・イン・ビジネス Friends in Business、トレード・アンド・トーク・クラブ Trade and Talk Club、ウインディ・シティ・ラウンドアップ Windy City Roundup 等々、沢山の名前が卓上を賑わしましたが、決定的な名前を提案する人は誰もいませんでした。最後に誰かが言いました。「我々はお互いの事務所で、一種のローテーションを取り決めて、会合を開いている。ロータリークラブRotary Clubと呼んだらどうだろう。」残念なことには、その言葉を誰が発したのかを、幹事は記録していませんでした。ひょっとしたら、ポールの言葉だったのかも知れません。しかし、1年後には、名前を決めた詳しい経過を覚えている人もいなくなり、現在は、そんなことがあったという事実を知っている人すらいなくなっていました。

[ゴールデン・ストランドより抜粋]

1999年11月13日(源流の会: 炉辺談話より)